

第97期 株主通信

2016.4.1～2017.3.31



代表取締役社長 梶本 一典

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社第97期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）の営業の概況及び決算内容につきましてご報告申し上げます。

事業報告

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策効果に加え、電子部品などのアジア向け輸出が増加し、緩やかに回復いたしました。企業収益も輸出の増加や年後半からの円安により底堅く推移し、設備投資は労働人口減少に向けた合理化・省力化への投資により、堅調に推移いたしました。

また、海外経済は、米国では雇用や所得の改善による個人消費の増加や企業収益の改善、欧州では金融緩和策などから、ともに緩やかに拡大いたしました。中国でも、公共投資の拡大や小型車の減税措置などの政策により、景気は底堅く推移いたしました。

このような状況のもとで、当社グループの当期における連結業績は、売上高94,012百万円（前期比6.7%増）、営業利益9,580百万円（前期比18.2%増）、経常利益9,771百万円（前期比20.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益6,958百万円（前期比27.5%増）となりました。

なお、前連結会計年度は、海外連結子会社5社の決算日を連結決算日と同じ3月末日に変更したことに伴い、当該連結子会社の前連結会計年度は15か月となっています。この決算期変更に伴う影響を除いた比較では、売上高は前期比10.5%増、営業利益は前期比20.4%増、経常利益は前期比22.9%増となりました。

なお、当期の期末配当金につきましては、1株当たり16円とさせていただきます。また、昨年12月にお支払いした中間配当金1株当たり14円と合わせて、年間配当金は1株当たり30円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

対処すべき課題

当社グループは、平成29年3月期よりスタートとした新中期経営計画『Challenge CKD 2018』による中長期的な経営戦略の下で、次のとおり対処すべき課題に取り組んでまいります。

世の中の変化を新たなビジネスチャンスと捉えて、新事業への取組みと新市場に向けた商品開発に挑戦いたします。世界中で普及が進むIoT化には、通信機能やセンサー類の強化をするとともに予防保全用商品を開発するなど、商品の高度化にて対応してまいります。

当社が培った国内TOPクラスの商品を、積極的に海外のお客様に紹介し、グローバルに事業を拡大いたします。自動機械は、医薬品や食品の自動包装システムをグローバルに展開できるよう、商品の対応と販売及びサービス体制を強化いたします。機器は、特定用途向け商品や業界ニーズ対応商品を、米国や欧州の先端産業に展開できるよう、販売と技術のサポート体制を強化いたします。

今まで築いてきたアジア地域の事業基盤に加え、中南米やインドなどの新興国にも新たな基盤を構築いたします。また、米国と欧州ではお客様によりご満足いただけるよう基盤の強化に取り組めます。

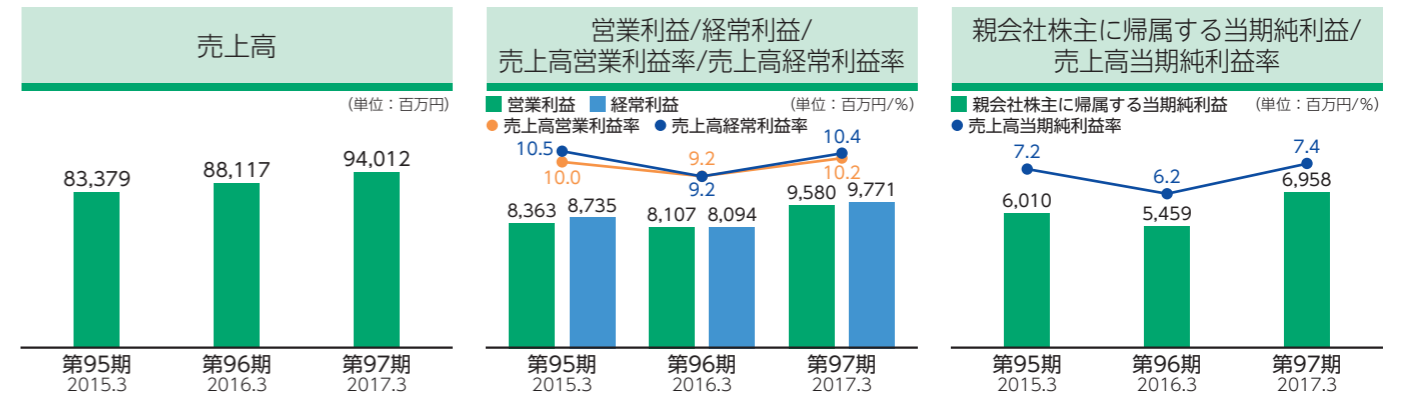
財務情報

決算短信などのIR情報は [こちら](#)

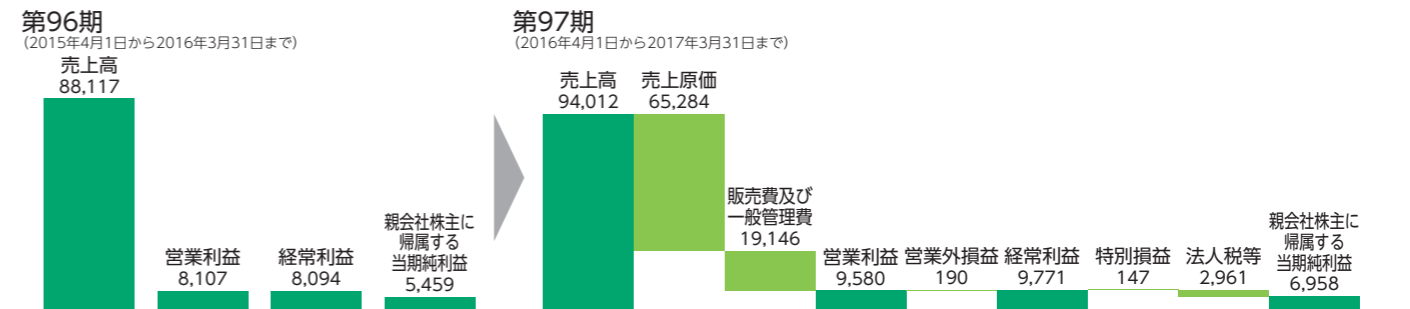
CKD IR

検索

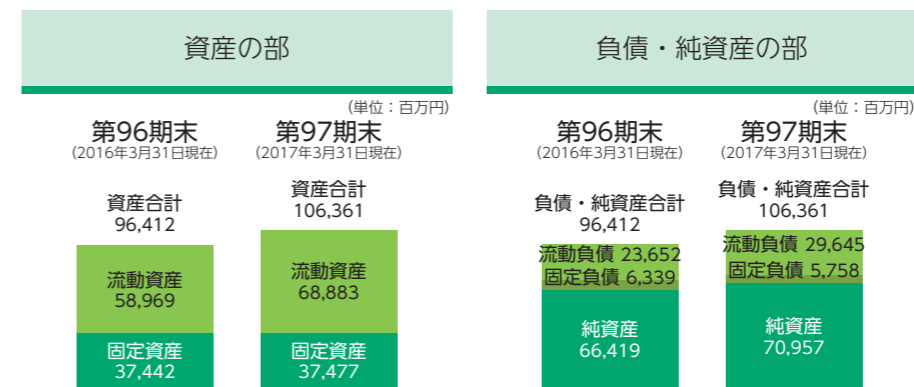
業績推移



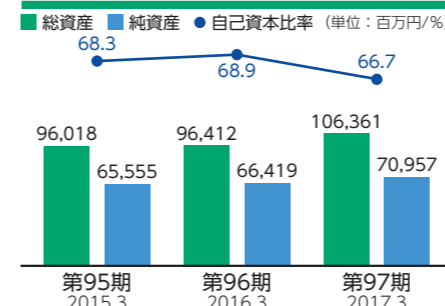
損益の状況 (単位：百万円)



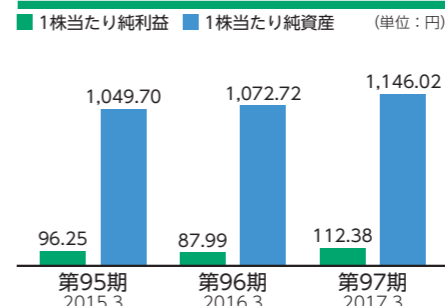
資産、負債・純資産の状況



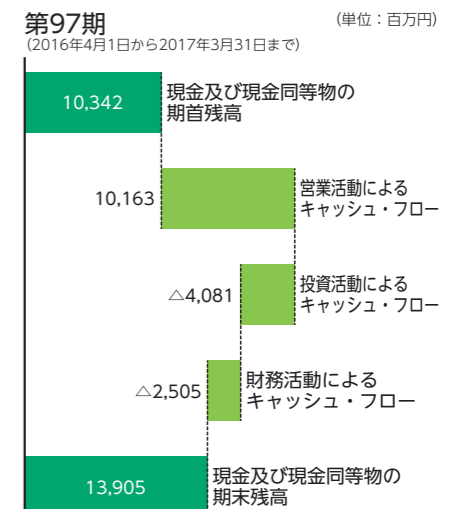
総資産/純資産/自己資本比率



1株当たり純利益/1株当たり純資産



キャッシュ・フローの状況



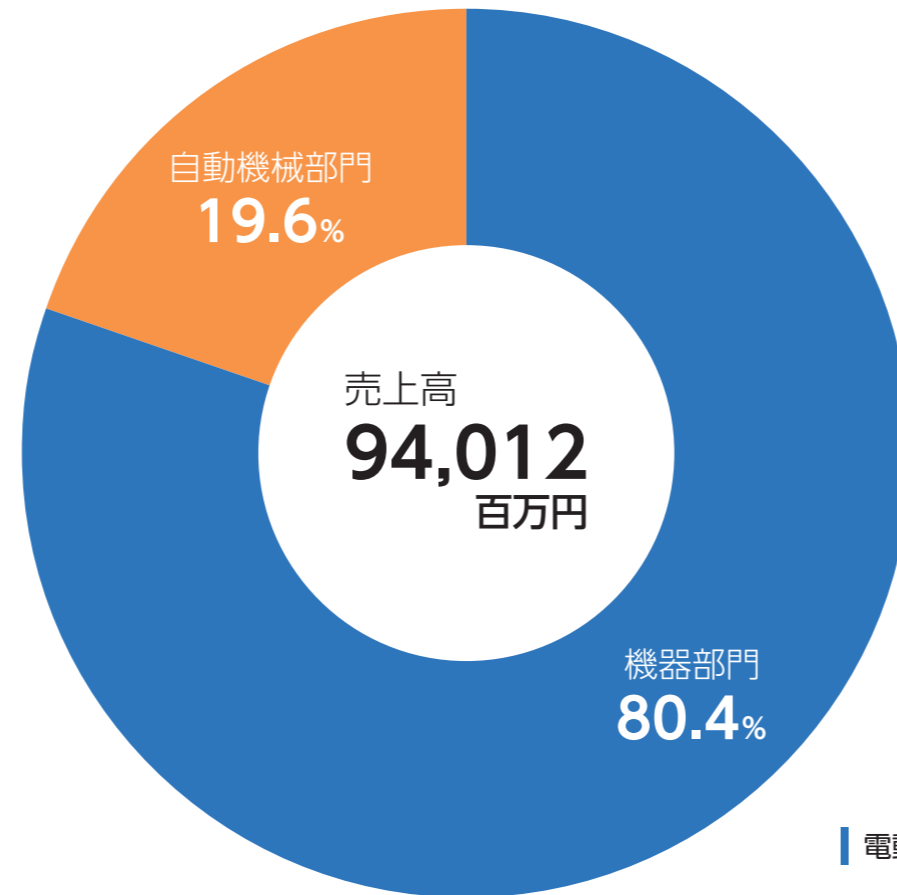
部門別の状況

自動機械部門

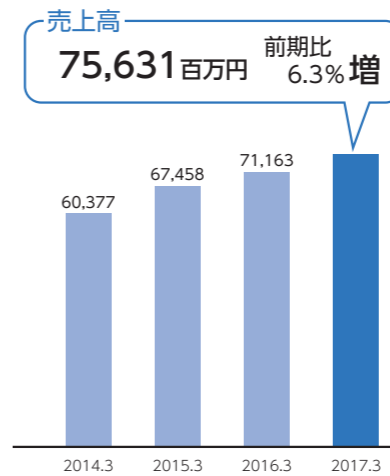
自動包装システムでは、薬品向けはジェネリック医薬品の普及に向けた設備投資により売上が増加いたしました。食品向けも国内外ともに売上が増加いたしました。

産業機械では、三次元はんだ印刷検査機は電子化が進む車載用や情報通信端末向けの売上が増加したものの、リチウムイオン電池製造システムは売上が減少いたしました。

その結果、売上高は18,380百万円（前期比8.4%増）、営業利益は2,103百万円（前期比11.0%減）となりました。



機器部門



国内外ともに、微細化や3Dメモリーへの投資が続く半導体製造装置向け及び二次電池製造装置向けなどの売上が増加いたしました。

その結果、売上高は75,631百万円（前期比6.3%増）、営業利益は11,189百万円（前期比29.2%増）となりました。

なお、決算期変更に伴う影響を除いた比較では、売上高は前期比11.0%増、営業利益は前期比31.4%増となりました。

自動包装システム

薬品包装



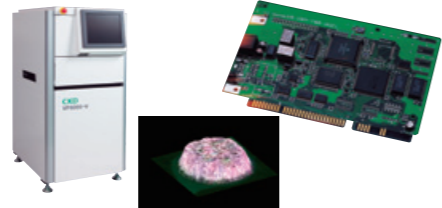
食品包装



リチウムイオン電池製造システム



三次元はんだ印刷検査機



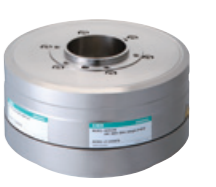
ファインシステム機器



流体制御機器



省力機器



電動アクチュエータ



空気圧機器



トピックス

TOPICS 1 医薬品用錠剤包装機「FBP-320E」

この度発売の「FBP-320E」は、包装機のパフォーマンスを向上させるため、作業動線や作業内容を分析し、女性作業でも扱いやすい最適な機械レイアウトを実現、必要なオプションは全て標準仕様として盛り込むことで導入時の仕様決めも容易にいたしました。

設計の段階から、よりコンパクトで優れたデザインに取り組むことで実現した「新世代型薬品用包装機」です。



TOPICS 2 圧縮空気用「抗菌除菌フィルタ SFC/SFSシリーズ」

食品製造現場では、エアブローにより直接食品と圧縮空気が触れる工程があり、圧縮空気の衛生管理が必要とされています。

このようなニーズにお応えするため、「食の安心・安全」に貢献する「FPシリーズ」にて、業界でトップクラスの圧縮空気中の除菌率99.99999%を実現し、食品衛生法（日本）、FDA（アメリカ食品医薬品局）で認められた素材を使用した高性能フィルタ「抗菌除菌フィルタ SFC/SFSシリーズ」を発売いたしました。



TOPICS 3 海外販売体制の強化（欧州・インド）について

2014・2015年度に引き続き2016年度も海外拠点を拡充いたしました。自動車、医療、工作機業種等、機器商品の最大市場である欧州にて販売体制を再構築すべくCKD Europe B.V.の業務を開始いたしました。また、自動車業種を中心に市場拡大が見込まれるインドにおいて、CKD India Private Limitedの業務を開始し販売体制を強化いたしました。



欧州販売法人

TOPICS 4 日機電装株式会社のグループ会社化

ダイレクトドライブモータの分野において、優れた技術力を持つ日機電装株式会社の株式97.52%を4月3日に取得し、同社がグループ会社となりました。両社の技術の融合により、提案力強化と新しい分野の市場創造が可能になります。融合により創り出す新製品はCKDのグローバル販売網で世界へ広く販売可能であり、この事業統合は単なる足し算ではなく、効果は5倍にも10倍にもなる可能性を秘めています。



TOPICS 5 新工場建設について

国内の主要な生産工場（愛知県に3工場（小牧市、春日井市、丹羽郡扶桑町）、三重県に1工場（四日市市））に加え、2019年2月竣工に向け新たに宮城県黒川郡大衡村に新工場を建設いたします。

新工場の建設により、空気圧機器や流体制御機器などコンポーネント製品の生産拡大に取り組み、また東海地域の4工場で生産している製品のBCP強化を図ります。



会社概要 (2017年3月31日現在)

社名 CKD株式会社
 設立 1943年4月2日
 資本金 11,016,380,748円
 本社 〒485-8551
 愛知県小牧市応時二丁目250番地
 代表電話：(0568) 77-1111
 従業員数 2,092名 (連結3,719名)
 主要な事業内容 自動機械装置及び省力機器、空気圧制御機器、
 駆動機器、空気圧関連機器、ファインシス
 テム機器、流体制御機器など機能機器の開
 発・製造・販売・輸出

役員 (2017年6月23日現在)

取締役
 代表取締役社長 梶本 一典
 取締役 坪井 和巳
 取締役 西尾 竜也
 取締役 奥岡 克仁
 社外取締役 加川 純一
 社外取締役 浅井 紀子
 社外取締役 植村 和正
 監査役
 常勤監査役 大森 繁
 社外監査役 林 公一
 社外監査役 南谷 直毅
 社外監査役 澤泉 武

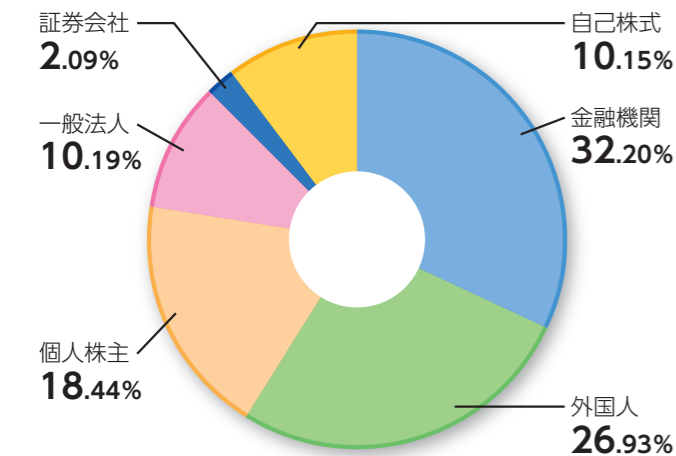
株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月開催
 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
 期末配当金 毎年3月31日
 中間配当金 毎年9月30日
 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
 公告の方法 当社のホームページに掲載する。(http://www.ckd.co.jp/japanese/ir/bspl.htm)
 単元株式数 100株
 上場証券取引所 東京証券取引所及び名古屋証券取引所 市場第一部 (証券コード6407)
 ホームページアドレス http://www.ckd.co.jp/
 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
 三井住友信託銀行株式会社
 株主名簿管理人事務取扱場所 名古屋市中区栄三丁目15番33号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先)
 (電話照会先) ☎ 0120-782-031
 (ホームページアドレス) http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

株式の状況 (2017年3月31日現在)

発行可能株式総数 233,000,000株
 発行済株式総数 68,909,449株
 株主数 7,440名

所有者別株式数の分布



大株主 (2017年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,699	5.98
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,387	5.47
CKD持株会	3,141	5.07
住友生命保険相互会社	1,914	3.09
株式会社三井住友銀行	1,581	2.55
CKD協力企業投資会	1,573	2.54
三井住友海上火災保険株式会社	1,410	2.28
第一生命保険株式会社	1,400	2.26
THE BANK OF NEW YORK MELLON 140044	1,166	1.88
GOVERNMENT OF NORWAY	1,129	1.82

(注) 上記持株比率は自己株式を除いて計算しております。

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設いたしております。特別口座についてのご照会は、上記の電話照会先をお願いいたします。

株主還元情報

株主優待制度

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの方々に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を導入いたしました。



■対象となる株主様

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された当社株式100株(1単元)以上を保有されている株主様を対象といたします。

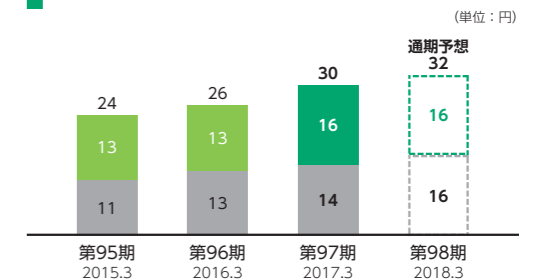
■贈呈時期

毎年6月下旬の発送を予定しております。

■株主優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上500株未満	クオカード 500円分
500株以上1,000株未満	クオカード 1,000円分
1,000株以上	クオカード 2,000円分

配当金



配当方針

当社は、株主の皆様への利益還元につきましては、経営基盤の充実と更なる事業拡大のための設備投資や研究開発投資等を実施することにより、企業価値の向上を図るとともに、株主還元についても安定的な配当を基本方針としております。

[ご参考] ●当社グループの拠点展開国・地域

